

NEWS RELEASE

We Secure the Future
思いをかなえる 技術で見つめる 確かな未来

GLORY

2011年8月23日

各位

グローリー株式会社
姫路市下手野1-3-1
(東証・大証1部:6457)

新製品 会話保護システム「ボイスガード〈QG-11〉」を開発

～ 第三者に聞かれたくない会話の保護を簡易設備で実現 ～

弊社は、かねてより開発中の会話内容を第三者に聞き取られないようにする会話プライバシー保護技術の製品化を実現し、会話保護システム「ボイスガード〈QG-11〉」として本年9月1日より新たに販売を開始いたします。

弊社は、人の会話から漏れる情報を防止するため、これまでにない方法での技術研究を進めてまいりました。そして、2007年に会話音声から言葉を認識するための音韻特徴部分*1と個人の声の特徴である個人的特徴部分を分離・抽出し、個人的特徴は残したまま、音韻特徴部分のみを変形させた防聴音を生成し、会話音声と同時に出力することで、言葉を認識しにくくし、一定エリアの第三者に会話内容が漏れるのを防ぐ技術を世界で初めて*2 開発いたしました。

その後、市場ニーズ調査と併せて、製品化を進め、この度、会話保護が必要な様々な環境で利用可能な製品として完成いたしました。

一般的に、会話のプライバシー保護には、防音壁などの防音設備やノイズで声を聞きとりにくくするサウンドマスキングの方法などが取り入れられています。

しかし、防音壁は、高い防音効果を得ることは可能ですが、大掛かりな施工が必要になります。

また、サウンドマスキングは、常に一定音量のマスキング音*3を発生させて、会話音声を聞き取りにくくする仕組みで、第三者に会話音声を聞き取れないようにするためには相当な音量が必要になり、会話相手の言葉も聞き取りにくくなることもあります。さらに、人の聴覚は、喧騒の中でも、聞き慣れた特徴のある声や自分に関係する言葉などは聞き取れる能力があるため、サウンドマスキングでは保護できない場合もあります。

弊社が開発した「ボイスガード〈QG-11〉」は、防聴音により、言葉自体を認識しにくくするため、聞き慣れた特徴のある声や言葉であっても聞き取りにくくすることができます。また、会話に合わせて出力するので、会話のない時には静穏状態を保つことが可能です。

「ボイスガード〈QG-11〉」は、会話音声を収集するマイク、音声を解析し防聴音を生成する本体、防聴音を発生するスピーカーから成り、これらをカウンターやパーティションに設置し、安心して会話ができる環境を提供できます。

今後弊社は、新たなニーズを掘り起こし、既存市場である金融市場、流通市場、病院市場をはじめ会話のプライバシー保護が求められる様々な市場に提案してまいります。

*1 音韻特徴部分：例えば「あ」と発声した場合の音を、「あ」と聞き取るための周波数特徴。

*2 世界初：会話と連動させて会話のプライバシーを保護する方式において。(当社調べ)

*3 マスキング音：空調騒音に似たノイズなど、特定の音を隠すことを目的に出力する音。